



WTI原油先物ファンド

(ロング・ポジション／ショート・ポジション／マネー・ポジション)

【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 追加型投信/海外/その他資産(商品先物)/特殊型(ブル・ベア型)

【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 追加型投信/国内/債券

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

目論見書のご請求・お申込みは・・・

大和証券

Daiwa Securities

〔販売会社〕

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会
社団法人 金融先物取引業協会

設定・運用は・・・



ITC インベストメント・パートナーズ株式会社

〔委託会社〕

商号等 ITCインベストメント・パートナーズ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号
加入協会 社団法人 投資信託協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会

〔当資料のお取扱いにおけるご注意〕

当資料は、ITCインベストメント・パートナーズ株式会社により作成された販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。当資料は、信頼できると判断される情報に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。当ファンドの受益権の価額(基準価額)は、当ファンドに組入れられている有価証券や商品先物等の値動き(外貨建資産には為替リスクもあります。)による影響を受けます。したがって投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



はじめに

- WTI原油先物は、世界的な原油価格の指標であると共に、重要な経済指標の一つとして注目されています。
- WTI原油先物は、2008年7月に最高値をつけた後、大幅に調整していますが、ITCインベストメント・パートナーズ株式会社では、新興国のエネルギー需要の拡大や安定的な供給への懸念から、中長期的には上昇基調にあるものと考えています。
- 短期的には地政学リスクの低下、金融市場の動向、暖冬などの天候要因等による下落局面も想定されます。
- 当ファンドは、WTI原油先物の上昇・下落双方の投資機会をお客様にご提供するため、スイッチング(乗換え)可能な3本のファンドで構成された商品です。
 - 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」
 - 「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」
 - 「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」
- 商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

<目次>

はじめに	P2
WTI原油現物価格の推移	P3
WTI原油とWTI原油先物について	P4
WTI原油先物価格の主な変動要因	P5
新興国経済の台頭による需要の拡大	P6
投資資金の流入	P7
将来の安定的な供給への懸念①、②	P8～9
ファンドの特色について	P10
商品先物取引に直接投資を行なう日本初の国内籍投資信託	P11
3本のファンドとスイッチングについて	P12
資産配分と外貨建資産の為替ヘッジについて	P13
運用体制と運用会社について	P14
基準価額の動きについての留意事項①、②	P15～16
ファンドのリスクについて①、②	P17～18
お買付から換金・償還までにかかる主な費用	P19
お申込メモ	P20

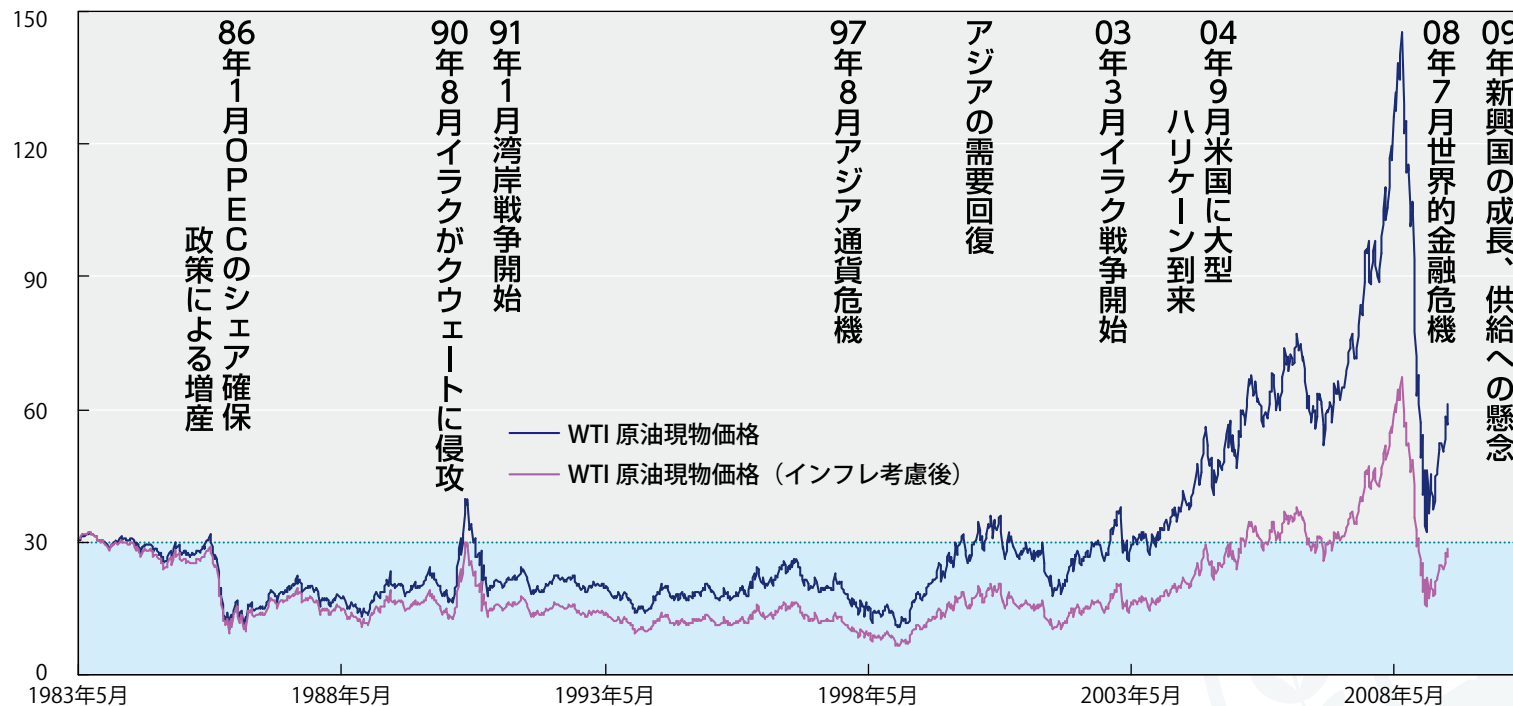


WTI 原油現物価格の推移

■WTI原油現物価格は、2008年7月に最高値をつけた後、大幅に調整しました。足許では、新興国の景気回復期待から上昇していますが、インフレ率を考慮した価格は25年前と同水準です。

WTI原油現物価格の推移(1983年5月20日～2009年5月22日)

単位：米ドル/バレル



データ出所：ブルームバーグのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

※WTI原油現物価格・・・米国テキサス州ミッドランドを中心とした油田地帯で産出される原油の価格です。WTI原油現物価格は、WTI原油先物市場で取引されるWTI原油先物価格(期近物)とほぼ同水準で推移しています。



WTI 原油とWTI 原油先物について

■ WTI原油は、米国テキサス州で産出される原油です。また、WTI原油先物は、原油先物市場において取引高が最も多く、世界的な原油価格の指標です。

WTI 【West Texas Intermediate】

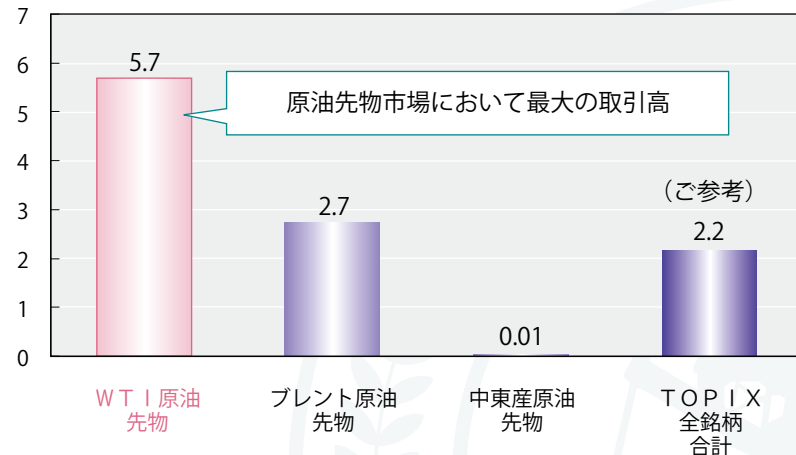
- ウェスト・テキサス・インターミディエイトの略です。
- 米国テキサス州で産出され、ガソリンなどを多く取り出せる高品質な原油です。

WTI原油先物

- WTI原油先物取引は、WTI原油の一ヶ月先や一年先など将来の定められた期日にあらかじめ決められた価格で売買する取引のことです。
- WTI原油先物は、ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)およびインターコンチネンタル・エクスチェンジ(ICE)に上場しています。
- 取引は、米ドル建てで行なわれています。

原油先物市場の取引高(1日の平均値)

単位：兆円



データ出所：ブルームバーグのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

※データの期間：2008年1月～2008年12月末

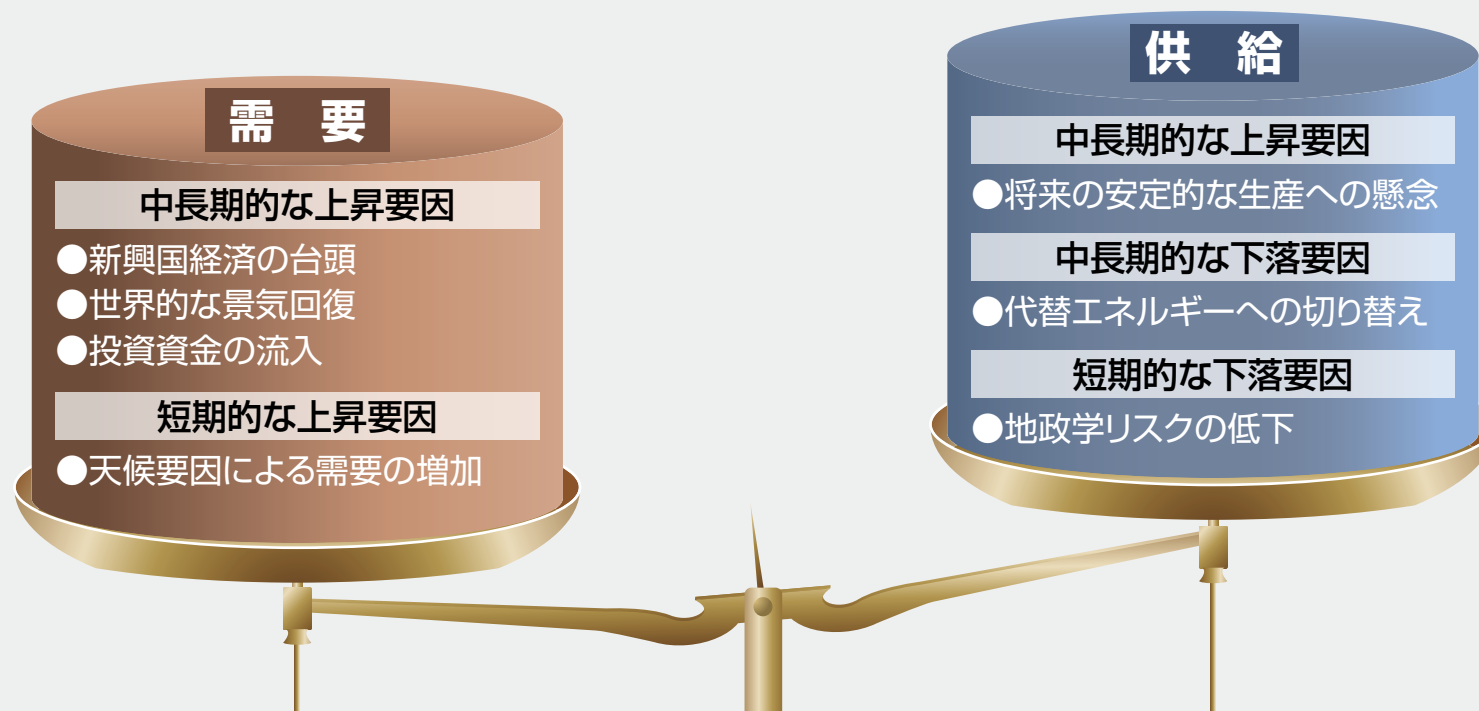
※WTI原油先物とブレント原油先物の取引高は、日々の取引高(両方とも米ドルベース)に日々の為替レートをを用いて円換算しています。



WTI 原油先物価格の主な変動要因

■WTI原油先物価格は、需給関係などの影響により変動します。中長期的には、将来の安定的な供給への懸念などから、上昇基調にあると考えます。

WTI原油先物の需給関係のイメージ図



※「地政学リスク」…戦争(紛争)、テロ活動、資源国政府による油田の国有化など、政治的・軍事的な背景による出来事から、原油供給の先行きが不透明になるリスクのことです。

※上記はITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成したイメージであり、将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。実際の変動要因および市場動向等は上記と異なる場合があります。

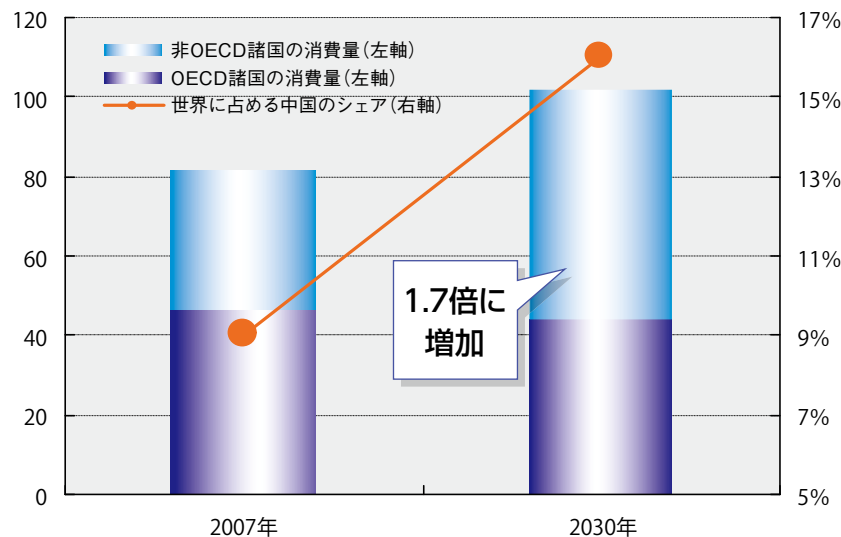


新興国経済の台頭による需要の拡大

■新興国の経済成長に伴い、原油需要の拡大が予想されます。主要国の経済は底打ちの兆しが見え始め、新興国を代表する中国の経済は、回復基調を強めています。

世界の原油需要と世界に占める中国のシェアの見通し

単位：百万バレル／日

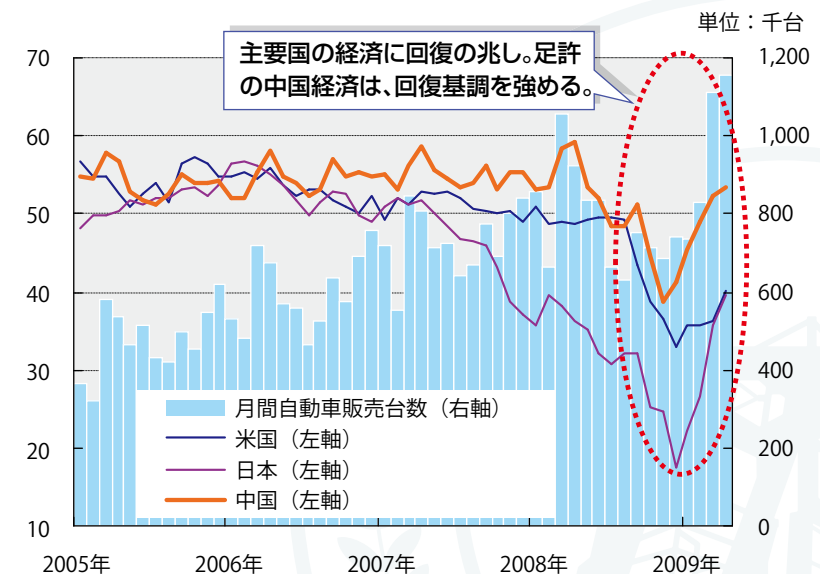


データ出所：IEA(国際エネルギー機関)「World Energy Outlook 2008」の見通しを基に ITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

※上記は資料作成時点におけるIEAの見通しであり、将来の動向等を保証するものではありません。

中国の自動車販売台数と日米中の景況感指数

(2005年1月～2009年4月)



データ出所：中国自動車工業協会(CAAM)が発表の月間自動車販売台数、米国の景況感指数；全米供給管理協会(ISM)が発表のISM製造業指数、日本の景況感指数；内閣府が発表の景気ウォッチャー調査(景気の先行き判断DI)、中国の景況感指数；中国物流購買連合会が発表の製造業購買担当者指数を基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。



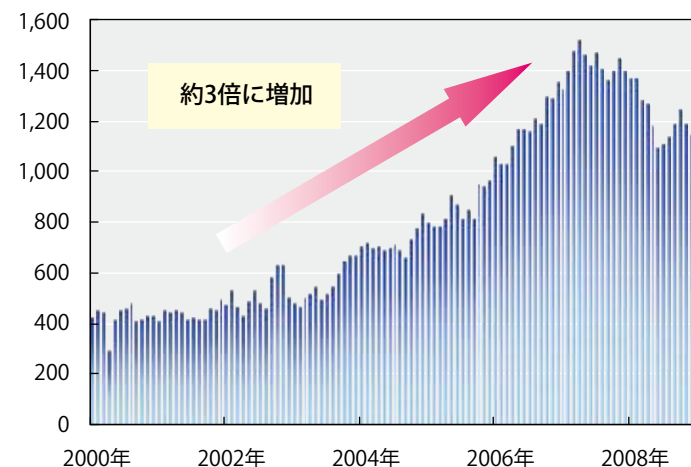
投資資金の流入

■WTI原油先物市場(NYMEX)の建玉は、2004年以降、急激に増加しています。この背景の一つには、投資資金の流入が推測されます。

WTI原油先物取引の建玉

(2000年4月～2009年3月)

単位：1000枚

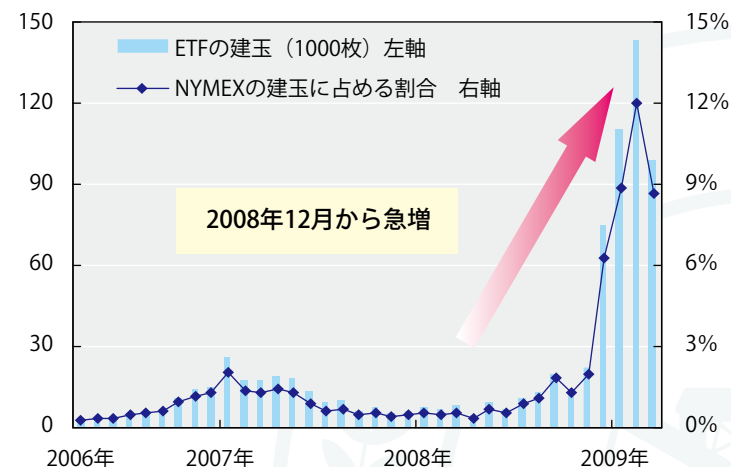


データ出所：NYMEXのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

米国の代表的な原油ETFの建玉

(2006年4月～2009年3月)

単位：1000枚



データ出所：ブルームバーグのデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成

※建玉…………… WTI原油先物市場(NYMEX)の1日の取引終了時点における売建玉と買建玉の枚数を合計したものです。

※米国の代表的な原油ETF…… 米国には、WTI原油先物への連動を目指す米国ニューヨーク証券取引所に上場する代表的なETFとして、UNITED STATES OIL FUND(以下「USO」とします。)があります。2006年4月10日から運用を開始しており、2009年5月5日現在の時価総額は約30億米ドル(1米ドル=100円で換算しますと約3000億円)です。



将来の安定的な供給への懸念①

■大規模な油田の発見は、1977年を最後に途絶えています。今後は、小規模で地理的な条件が悪い油田に依存せざるを得ない状況です。

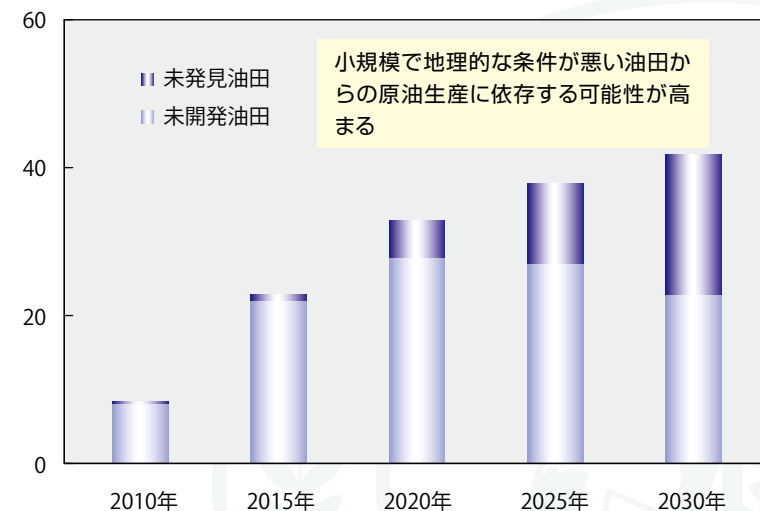
油田開発の歴史

油田名	国名	可採埋蔵量 (億バレル)	発見年
ガッチサラン	イラン	190	1928年
ブルガン	クウェート	590	1938年
ズアタ	ベネズエラ	383	1938年
ガワール	サウジアラビア	660	1948年
ルマイラ	サウジアラビア	211	1951年
サファーニア・カフジ	イラク	240	1953年
マニファ	サウジアラビア	168	1957年
ザクム	アブダビ	167	1964年
東バグダッド	イラク	180	1976年
カンタレル	メキシコ	174	1977年

データ出所: 金属鉱業事業公団、石油鉱業連盟のデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

未発見油田・未開発油田の原油生産量の見通し

単位: 百万バレル/日



データ出所: IEA(国際エネルギー機関)「World Energy Outlook 2008」を基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

※上記は資料作成時点におけるIEAの見通しであり、将来の動向等を保証するものではありません。

※未発見油田の原油生産量は、推計埋蔵量に基づいて、予測されています。

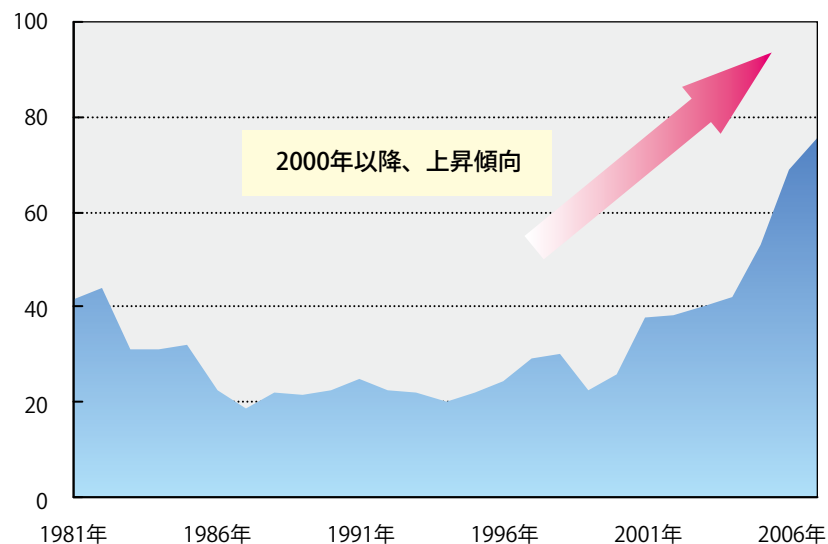


将来の安定的な供給への懸念②

■拡大する需要を埋めるため、新規油田開発が不可欠ですが、開発コストが上昇しています。2030年の既存油田などからの生産量は、30%以上減少する見通しです。

石油会社の油田開発コスト

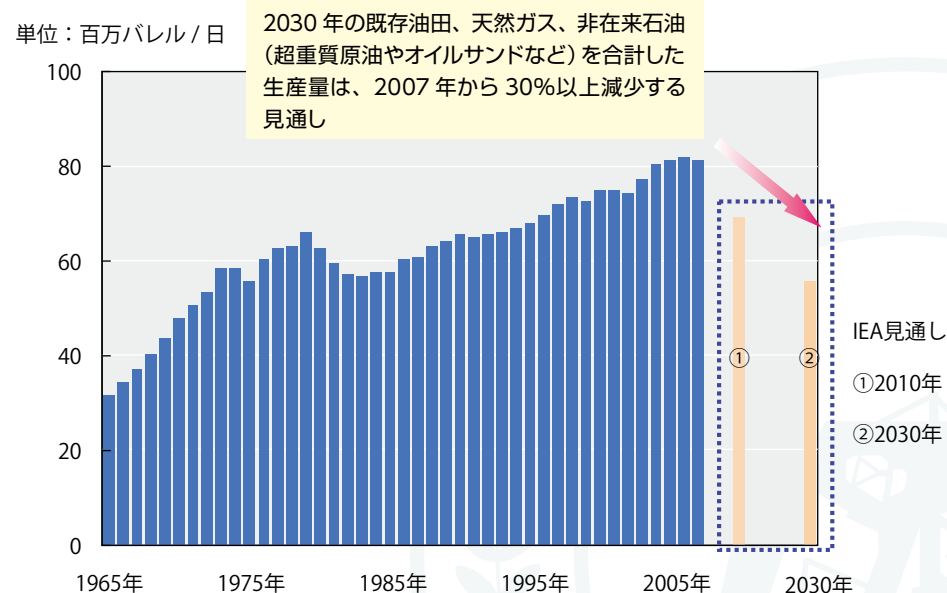
単位：10 億米ドル



データ出所：EIA(米国エネルギー情報局)のデータを基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

原油生産量の推移と見通し

単位：百万バレル/日



データ出所：1965年～2007年の原油生産量はBP(英国)、原油生産量の見通しはIEA(国際エネルギー機関)「World Energy Outlook 2008」を基にITCインベストメント・パートナーズ株式会社が作成。

※上記は資料作成時点におけるIEAの見通しであり、将来の動向等を保証するものではありません。



ファンドの特色について

■ 商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

平成20年の法令等の改正により、投資信託の主たる投資対象(特定資産)として、商品現物、商品先物取引等に係る権利が追加されました。「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

■ 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション／ショート・ポジション／マネー・ポジション)」は、3本のスイッチング(乗換え)可能なファンドで構成されています。

- ・ 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」
- ・ 「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」
- ・ 「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」

※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」のお買付は、スイッチングによるお買付のみとなります。

■ 「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の運用の指図に係る権限の一部をアストマックス株式会社(投資顧問会社)に委託します。

■ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないます。

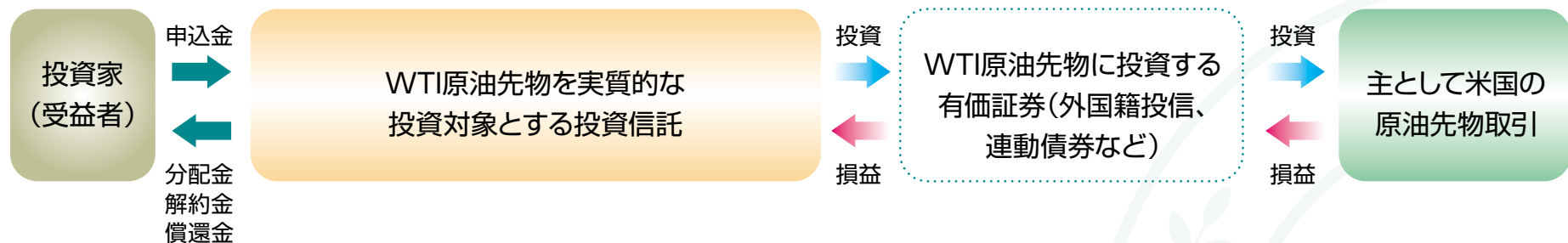


商品先物取引に直接投資を行なう日本初の国内籍投資信託

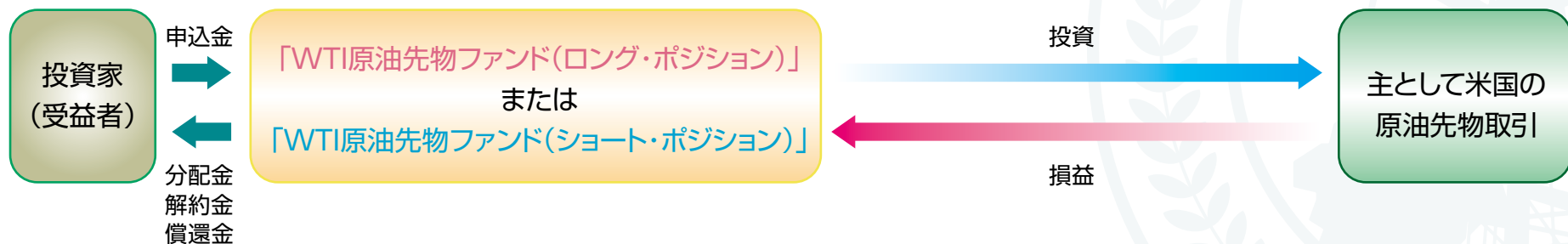
■有価証券等を通じた投資を行なう必要がないため、透明性を高めることが可能になりました。

ITCインベストメント・パートナーズ株式会社は、金融商品取引法に基づく承認を得たことにより、商品先物取引に直接投資を行なう投資信託の設定・運用を行なうことが可能になりました。「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、商品先物取引に直接投資を行なう日本で初めての国内籍投資信託です。

■ 従来のファンド



■ 当ファンド



従来のファンドは、連動債券や外国籍投信等を直接的な投資対象としていたため、発行体の信用リスクがファンドの基準価額に影響を与えたり、運用経過の情報開示が複雑になる傾向がありました。当ファンドは原油先物取引に直接投資を行なうことにより、基準価額の変動要因や情報の開示に透明性を持たせることが可能になりました。

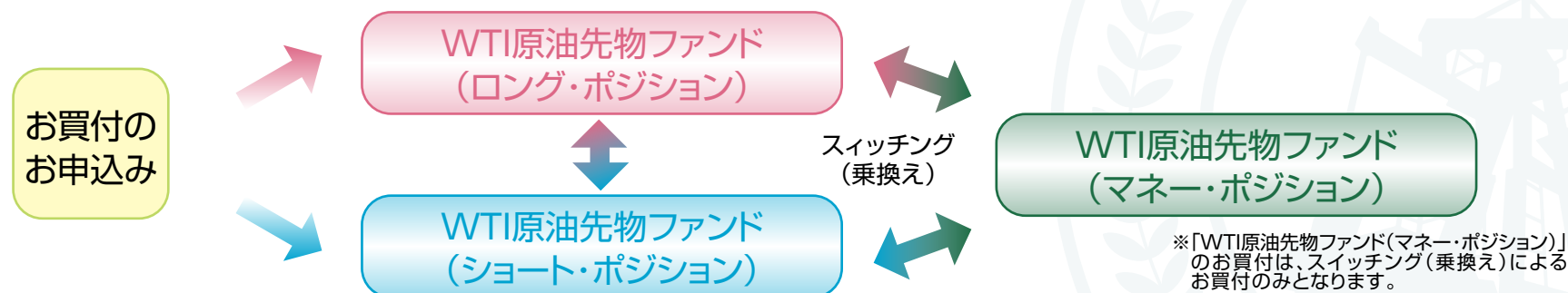


3本のファンドとスイッチングについて

■ WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)を構成する3本のファンドについて

ファンド名	運用方針	主な投資対象
WTI 原油先物ファンド (ロング・ポジション)	日々の基準価額の値動きが WTI 原油先物取引価格の値動きと概ね連動する投資成果を目指します。	主として米国の原油先物取引、わが国の短期公社債
WTI 原油先物ファンド (ショート・ポジション)	日々の基準価額の値動きが WTI 原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指します。	主として米国の原油先物取引、わが国の短期公社債
WTI 原油先物ファンド (マネー・ポジション)	わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行ないます。	主としてわが国の短期公社債

■ スwitching(乗換え)について

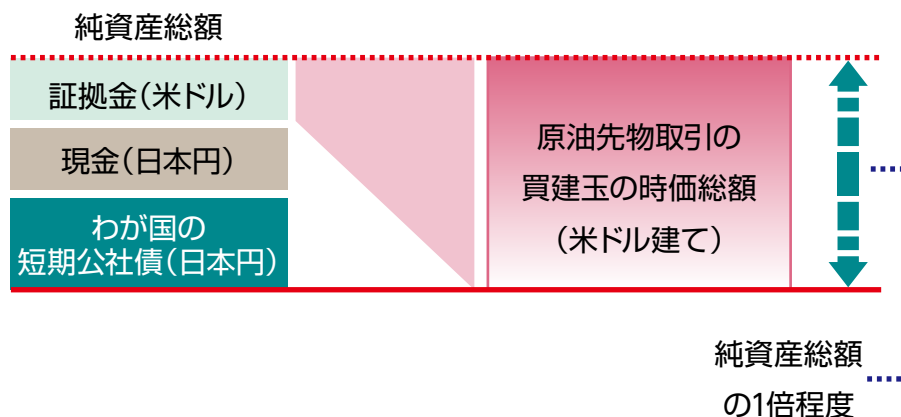


スイッチング(乗換え)・・・「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドを換金し、その換金代金をもって、他のファンドのお買付のお申込みを行なうことをいいます。スイッチング(乗換え)に係るスイッチング手数料については、当資料のP19をご覧ください。

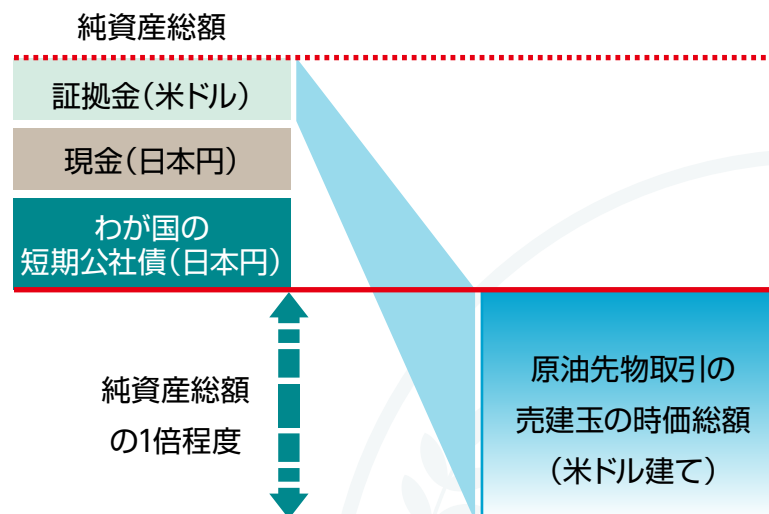


資産配分と外貨建資産の為替ヘッジについて

■「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」の資産配分のイメージ



■「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の資産配分のイメージ



※上記の資産配分はイメージであり、実際のポートフォリオと異なります。

※証拠金・・・原油先物取引を行なう際には、一定の金額を証拠金として預ける必要があります。

■ 外貨建資産の為替ヘッジについて

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」においては、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

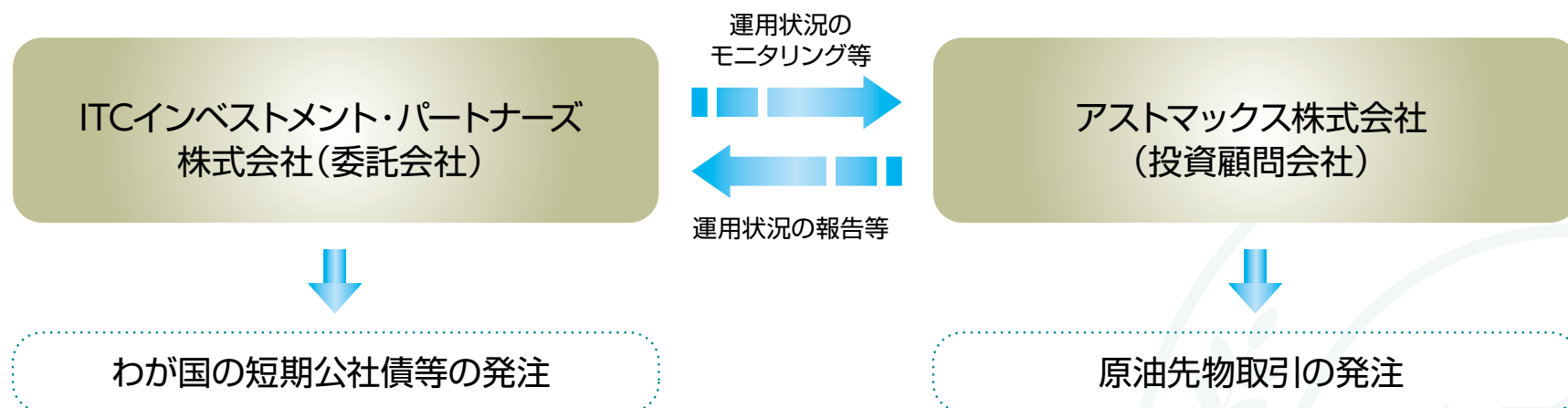
※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」は、外貨建資産への投資は行ないません。



運用体制と運用会社について

■ 運用体制について

運用の一層の強化・充実を図るため、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の運用の指図に係る権限の一部をアストマックス株式会社(投資顧問会社)に委託します。



■ 運用会社について

ITCインベストメント・パートナーズ株式会社

- 総合商社である伊藤忠商事を親会社にもつ資産運用会社です。
- 優れた金融商品を探求し、従来にはなかったタイプの魅力的な投資商品の組成に強みを持っています。
- 金融商品取引法に基づく承認を得たことにより、商品先物取引に直接投資を行なう投資信託の設定・運用を行なうことが可能になりました。

アストマックス株式会社

- アストマックス株式会社は、1992年に設立され、1994年9月に「商品投資に係る事業の規制に関する法律」(商品ファンド法)に定める許可を取得した日本で最初の商品投資顧問業者(CTA)です。
- 商品市場の専門家として、これまでも独自の商品指数AMCIIに連動する運用などで優れた運用成績をあげています。



基準価額の動きについての留意事項①

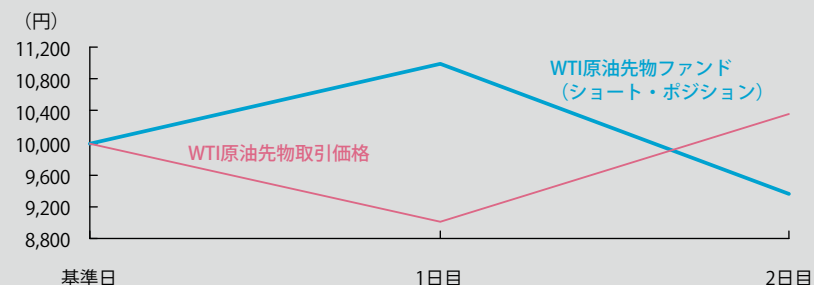
■ WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)の基準価額の動きの留意事項

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。そのため、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。

「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額とWTI原油先物取引価格の値動きの例
() は前日比の騰落率

	基準日	1日目	2日目	2日間の騰落率
WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション)	10,000円	11,000円(+10%)	9,350円(-15%)	-6.5%
WTI原油先物取引価格	10,000円	9,000円(-10%)	10,350円(+15%)	+3.5%

※WTI原油先物取引価格を10,000円としています。実際に取引される価格と異なります。



上の図表のとおり、WTI原油先物取引価格が1日目に10%下落、2日目に15%上昇した場合、運用目標が完全に達成されれば、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額は1日目に10%上昇し、2日目には15%下落します。しかし、基準日から2日間の騰落率は、WTI原油先物取引価格は3.5%の上昇、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は6.5%の下落となります。このように、2日以上保有した場合は、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の値動きはWTI原油先物取引価格の「概ね反対」とはならないことが想定されますので、ご注意ください。特に、WTI原油先物取引価格の中長期的な値動きと比較した場合、大きく乖離することもあります。

※上記は、運用目標が日々正確に達成された場合を前提としています。騰落率や価格は、WTI原油先物取引価格の値動きと「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」の基準価額の値動きの関係を説明するための計算例であり、実際の値動きを示したものではありません。また、WTI原油先物は、米ドル建てで取引が行なわれています。



基準価額の動きについての留意事項②

■ 基準価額の動きについての留意事項(「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」を除く)

「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」は、原油先物取引を活用するため、主として以下の要因等により、運用目標が達成できない場合がありますので、ご注意ください。

- ・設定当初、ポートフォリオの構築に一定の日数を要する場合
- ・運用資金の増減等の対応のために行なった原油先物取引の約定価格と終値に差が生じた場合
- ・大幅な変動や急激な変動、流動性の低下などにより先物取引が成立せず、必要な取引数量のうち全部または一部が取引不成立となった場合
- ・原油先物取引の最低取引単位の影響
- ・原油先物取引のロールオーバー(期近の取引を決済し、期先の限月の取引へ乗換える)時に発生する売買委託手数料等の負担や限月間の価格差(スプレッド)による影響
- ・売買委託手数料、信託報酬、監査報酬等の負担

上記以外にも、運用目標が達成できない場合があります。なお、市場動向等に急激な変化が生じたときまたは予想されるとき、信託財産を保全するため原油先物取引の建玉を縮小もしくは全て決済する場合があります。その場合、基準価額は、WTI原油先物取引価格の値動きの影響を受けにくくなること、もしくは受けなくなることが想定されます。



ファンドのリスクについて①

■ 投資リスクについて

当ファンドは、主として公社債等に投資するとともに、商品先物取引(原油先物取引を含む投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条第10号に規定する商品投資等取引(同号イに掲げるものに限り。))に係る権利に限り。以下同じ。による運用を行ないますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用により信託財産に生じた利益および損失は、受益者に帰属します。投資家の皆様におかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込みくださいますよう、宜しく願い申し上げます。基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

■ 基準価額の主な変動要因について

商品先物取引による運用に伴うリスク (「WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)」を除きます。)		商品先物の取引価格は、様々な要因(商品の需給関係の変化、天候、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、技術発展等)に基づき変動します(個々の品目により具体的な変動要因は異なります。)。商品先物を買建てている場合、価格が下落すれば損失が発生し、売建てている場合、価格が上昇すれば損失が発生します。当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、短期的または長期的に大きく下落し、投資元本を下回ることがあります。
公社債の価格変動	価格変動 リスク	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します(値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。)。当ファンドが組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
	信用リスク	公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなった場合(債務不履行)、またはできなくなることが予想される場合には、当該公社債の価格は大きく下落します(利息および償還金が支払われず、投資資金を回収できなくなることもあります。)。当ファンドが組入れている公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
海外の資産への 投資に伴うリスク (「WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)」 を除きます。)	為替リスク	外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。当ファンドが組入れている外貨建資産について、当該外貨に対して円高となった場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。当ファンドにおいては、外貨建資産の為替変動リスクを低減するため、外国為替予約取引、通貨先物取引等を用いて為替ヘッジを行ないます。ただし、市況動向の変化、ヘッジをかける比率、タイミング等により、想定したほどヘッジ効果があがらない場合があります。基準価額に影響を及ぼすことがあります。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



ファンドのリスクについて②

海外の資産への投資に伴うリスク 〔WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)〕 を除きます。〕	カントリー・ リスク	投資対象国・地域において、政治・経済・社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合等には、運用の基本方針に沿った運用を行なうことが困難となることがあります。
その他	解約申込み に伴うリスク	解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため、商品先物の建玉の解消や組入証券の売却を行なわなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては、市場実勢から期待される価格で売却等ができないこともあります。この場合、基準価額にマイナスの影響を及ぼすことが考えられます。
	取引先の 信用リスク	コール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります(信用リスク)。この場合、基準価額が下落する要因となります。 米国商品先物取引委員会規則に基づき、商品先物取引業者は顧客資産の分別保管が義務付けられていますが、取引先商品先物取引業者が破綻等に陥った場合、委託証拠金が回収できなくなるおそれがあります。

■ 換金性等が制限される場合について

- ①商品市場および金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、取得・換金の申込みの受付を中止することがあります。換金の申込みの受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の換金の申込みを撤回することができます。
- ②「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドの受益権を換金し、その換金代金をもって他の構成ファンドの取得申込みをする場合において、委託会社が当該各ファンドの換金の申込みの受付を中止したときおよび換金の申込みを取消したときには、販売会社は、当該取得申込みの受付の中止、当該取得申込みの取消またはその両方を行なうものとします。
- ③「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)」を構成する各ファンドの受益者が、保有する当該各ファンドの受益権を換金し、その換金代金をもって他の構成ファンドの取得申込みをする場合において、販売会社が当該他の構成ファンドの受益権の取得申込みの受付を中止したときまたは取得申込みを取消したときには、委託会社は、当該換金申込みの受付の中止および換金申込みの取消を行なうことができます。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



お買付から換金・償還までにかかる主な費用

■ お客様に直接ご負担いただく費用

お買付時の 申込手数料	申込金額に右記の手数料率を乗じて得た額とします。 申込金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口)×申込口数 (当初1万口=1万円)
スイッチング (乗換え)手数料	スイッチングによるお買付申込金額に右記のスイッチング手数料率 を乗じて得た額とします。 ※「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」へのスイッチング は、手数料をいただきません。
換金(解約)手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

申込手数料	
お買付時の 申込金額	手数料率 (税込)
5,000万円未満	3.150%
5,000万円以上 5億円未満	1.575%
5億円以上 10億円未満	0.630%
10億円以上	0.315%

スイッチング手数料	
スイッチング時の 申込金額	手数料率 (税込)
5,000万円未満	1.050%
5,000万円以上 5億円未満	0.525%
5億円以上 10億円未満	0.210%
10億円以上	0.105%

■ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	【WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)】 【WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)】 純資産総額に対し、年1.9845%(税抜年1.89%)とします。 【WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)】 純資産総額に対し、年0.945%(税抜年0.9%)を上限とします。
諸費用	法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産に係る監査人、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は純資産総額に対して、年0.1%を上限とします。
その他の費用	借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、商品先物や有価証券売買時の 売買委託手数料等 ※「その他の費用」については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドにかかる費用・税金について」をご覧ください。



お申込メモ

ファンド名称	WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション/ショート・ポジション/マネー・ポジション)
当初申込期間	平成21年6月15日～平成21年6月30日
継続申込期間	平成21年7月1日以降
設定日	平成21年7月1日
当初募集上限額	1000億円を上限とします。
信託金限度額	1000億円
信託期間	平成26年6月25日までとします。
決算日	原則として、毎年6月25日を決算日とします。なお、休日の場合は翌営業日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算日に、収益分配方針に基づいて分配を行ないます。ただし、基準価額の水準や市況動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。
お買付申込日	原則として、毎営業日にお申込みいただけます。ただし、ニューヨークの銀行の休業日もしくはロンドンの銀行の休業日の場合はお申込みを受付けないものとします。お申込みの受付は、午後3時(わが国の金融商品取引所が半休日の場合は午前11時)までとなっています。
お買付価額(1万口当り)	お買付申込日の翌営業日の基準価額(当初1万口=1万円)とします。
お買付単位	10万円以上1円単位(※)または10万口以上1口単位 ※申込手数料および申込手数料にかかる消費税等相当額を含めて10万円以上1円単位でお申込みいただけます。
換金申込日	原則として、毎営業日にお申込みいただけます。ただし、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」については、ニューヨークの銀行の休業日もしくはロンドンの銀行の休業日の場合はお申込みを受付けないものとします。お申込みの受付は、午後3時(わが国の金融商品取引所が半休日の場合は午前11時)までとなっています。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金の支払い	換金の申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
委託会社	ITCインベストメント・パートナーズ株式会社
投資顧問会社	アストマックス株式会社
受託会社	住友信託銀行株式会社
販売会社	大和証券株式会社

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。